

# 天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2023.4.7 (火) 晴れ 参加者：16名 9：00～15：30

この春は草木の成長がいつもより1週間以上早く、あっという間に咲きそして散っていきます。  
野の花苑でも桜は終わり、山吹があざやかに枝垂れています。遊水地の野鳥が少なくなったので、植物に時間をかけて周りました。

野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森一森西側側溝一田んぼ一俣野、下飯田遊水地

外—外来種 園—園芸種

## 野の花苑



堇 スミレ  
紫色の花をつける代表種



有明堇 アリアケスミレ  
紫色と白のグラデーション



厚葉堇 アツバスミレ 海岸  
近くの道路で咲く、葉に艶あり



ペラペラヨメナ 園  
中米原産 源平小菊とも



都忘 ミヤコワスレ 園  
ミヤマヨメナを改良



深山嫁菜 ミヤマヨメナ  
ミヤコワスレの原種



二輪草 ニリンソウ  
1本の茎に花が2輪



一輪草 イチリンソウ  
二輪草よりひと回り大きい



蛍蔓 ホタルカズラ  
蕾はピンクそれから青に



深山苧環 ミヤマオダマキ  
オダマキ 麻糸を空洞の  
玉状に巻いたもの



丁子草 チョウジソウ  
湿った場所で生育するが、  
数が少なくなっている



羅生門蔓 ラショウモンカズラ  
今年の花は大きめで目立つ



黄花碇草  
キバナイカリソウ



碇草 イカリソウ  
森の中で自生している



紅花碇草  
ベニバナイカリソウ 園



梅花碇草  
バオカイカリソウ



雪笹 ユキザサ  
葉の形が笹に似ている



姫空木 ヒメウツギ  
まだ蕾



芹葉飛燕草 セリバヒエン  
ソウ 外 中国原産  
放っておくと物凄く増える



紫露草 ムラサキツユクサ 園



**アミガサタケ**  
春、林の中や特にサクラの樹下に多く発生する チャワンタケの仲間、内部は空洞網目状の窪みがあり、ここから胞子を出す フランスでは食用キノコとして使われる



**狐薊 キツネアザミ**  
薊に似ているが棘がないので、狐が化けたのではと名づける



**赤鬼田平子 アカオニタビラコ** オニタビラコをアカオニとアオオニに区別している  
アカー花茎が紫色で1本、自然度の多い場所 頭花 7-10mm  
アオー花茎が多数で紫味はない、荒らされた場所に多く見られる 頭花 8-13mm



**日本桜草 ニホンサクラソウ**



**白雪芥子 シラユキゲシ外**  
中国産放っておくと増える



**草莓 クサイチゴ**  
赤い実はおいしい



**山吹 ヤマブキ**



**小臭木 コクサギ** 雄花 雌雄異株 クサギの仲間ではなくミカン科、独特の香りがあり、アゲハチョウの食樹 コクサギ型葉状といわれる特殊な葉のつき方をする



**浦島草 ウラシマソウ** 公園の日陰地に生育。花は紫褐色の「仏炎苞ぶつえんほう」と呼ばれる葉の一種に包まれ、花序から付属体の釣り糸の様なものを出す。これはキノコバエなど昆虫を集め、仏炎苞の中の雄花の花粉を雌花に届けるための誘因具となる。

若い時は雄株で、成熟すると雌株となる性転換する植物。  
沢山ついている葉は「鳥足状複葉」と言い、これ全部で1枚とする。



**ビロードツリアブ**  
春一番に出てくるモフモフの昆虫、2枚羽根でハエの仲間 長い口で花の蜜を吸う



**ニホンアマガエル**  
田んぼで生まれ森で暮らす



**ヌマガエル**  
西日本から移入



**ヨツメトビケラ**  
幼虫は溪流の中に砂粒で筒状の巣を作る  
2~3 億年前チョウから分かれ、幼虫が水中生活に適應

野の花苑で見聞きした野鳥  
エナガ・ウグイス  
ヒヨドリ・ガビチョウ

弁 天 坂



猿取茨 サルトリイバラ  
秋に赤い実



白山吹 シロヤマブキ  
山吹の白花ではない、別種



小檜 コナラ 新芽は銀白色の絹毛に包まれているが、次第に毛が落ちて無毛になる  
絹毛は寒さや乾燥、害虫から身を守るため

コナラの雄花  
新しい枝の基の部分に、穂になってぶる下がる様に伸びる、花序の長さ 2-6cm



大地縛 オオジシバリ



八重葎 ヤエムグラ  
茎は四角形で下向きの棘



雌花は新しい枝先にある新しい葉の付け根に数個つくが、ドングリになるのは一つか二つくらい

風に花粉を運んでもらい受粉する風媒



ネコハエトリ



左巻きマイマイ幼虫



ナナフシモドキ幼虫



シラヒゲハエトリ

見 晴 ら し の 丘



蛇母 ヘビイチゴ  
日当たり良い場所に生育



関東蒲公英カントウタンポポ  
夏になると葉を枯らして夏眠する



三葉躑躅 ミツバツツジ



榎 エノキ  
小さな花で目立たない



大島桜 オオシマザクラ  
桜餅の葉はこの木の葉



羊蹄 ギシギシ  
茎と茎を擦り合わせるとギシギシ鳴ることから



虎杖 イタドリ 中空の茎、折るとポコんと音がして酸っぱいからスカンポ  
太いものは杖になる



キムネクマバチ 羽音が怖い  
が、縄張りをホバリングしてメスを待つオス、オスは針がなく刺さない



ヤブキリ 幼虫  
タンポポの花粉を食べる



ツバメシジミ♀



ベニシジミ



クリハラリス 大島桜の花を食べているが、中の花粉や蜜が目的

くわくわ森



紫華鬘 ムラサキケマン  
葉をちぎると悪臭、有毒



海老根 エビネ  
少しづつ株が増えている



碓草 イカリソウ  
公園になる前から自生



薇 ゼンマイ↑  
栄養葉  
胞子葉→



接骨木 ニワトコ もう  
実がついて、秋に赤くなる



真弓 マユミ 柔らか  
そうな葉は虫の好物



山桑 ヤマガタ 実がつくと  
すぐ野鳥に食べられる



山躑躅 ヤマツツジ 森  
が明るくなったので開花



青木 アオキ 雌雄異株  
左一雌花 右一雄花



赤芽柏 アカメガシワ  
新芽の時だけ赤い



白ダモ 若葉は両面とも金  
色の毛で覆われ垂れ下がる



宝鐸草  
ホウチャクソウ



金襴草 キランソウ  
地獄の釜の蓋ともいう



立坪堇 タチツボスミレ



丸葉堇 マルバスミレ



三葉土栗 ミツバツチグリ



一人静 ヒトリシズカ



有明堇 アリアケスミレ  
道路の縁に咲いている



ミノウスバ 幼虫 マユミの柔らかな葉をモリモリと食べ  
葉陰で休んでいる 右一茎だけになったマユミ



アカタデハムシ  
食草：サクラ、  
トサミズキ



タケカレバ 幼虫 体長60mm  
幼虫で越冬 食草：タケ、ササ  
右-さなぎ 40mm 背中のは毛は毒あり



ホソミトトンボ♂  
越冬型は春に鮮やかな青色帯びる

くわくわ森で見聞きした野鳥  
メジロ・アオゲラ♂♀

田んぼ



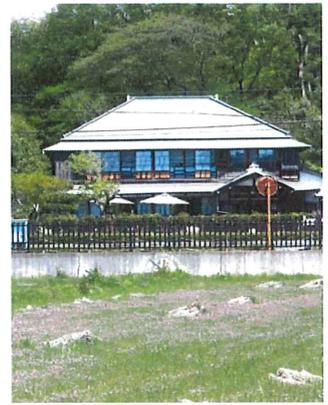
蓮華 レンゲ  
レンゲ畑が多い



今年は



毛狐の牡丹 ケキツネノボタン  
あちらこちらで群生



雄蛇苺 オヘビイチゴ  
蛇苺でも赤い実は見つかない



田辛シタガラシ  
狐の牡丹より小さめ



鷺苔 サギゴケ 花が大きく  
ランナーを出して広がる



常盤櫨 トキワハゼ 花が小  
さめで白っぽく葉が丸い



雀野豌豆 スズメノエンドウ  
花数が多く色はごく淡い  
淡紫色～白



かす間草 カラスとスズメの  
間、花に長い柄があり2つの  
花がぶる下がる



烏野豌豆 カラスノエンドウ  
実がカラスの様に真っ黒に熟  
すことから名付けられた



オオカワヂシャ 外 特定  
外来生物に指定され、栽  
培、運搬、移動禁止



蚤の衾 ノミノフスマ  
小さい葉が蚤が使う布団



灯台草 トウダイグサ  
昔の明かりを灯す台に見える



胡瓜草 キュウリグサ  
葉をちぎると胡瓜のにおい



コガタリリハムシ幼虫ギ  
シギシの葉についていた



ベニシジミ 幼虫は  
ギシギシ、スイバが食草



モンキチョウ♂か♀黄色型  
レンゲ畑を飛びかっている



キタキチョウ

俣野遊水地～下飯田遊水地



ノヂシャ 外  
欧州ではサラダとして使う



土筆 ツクシ スギナが  
栄養葉でツクシが孢子葉



松葉海蘭  
マツバウンラン 外



千萱 チガヤ  
5月に白銀色の花  
穂をつけ、風にな  
びく、若い花穂を  
口に入れて噛むと  
ほのかな甘み





笹澤瀉  
ヘラオモダカ  
いつもは7月-  
10月に見かけ  
る植物です



西洋芥子菜  
セイヨウカラシナ 外



浜大根 ハマダイコン



笹大葉子  
ヘラオオバコ 外



ヒメアカタテハ



コチドリ



ホオジロ ♀ 水浴び



カイツブリ

### 遊水地で見かけた野鳥

俣野遊水地：タヒバリ 13・カワセミ♂・オオバン 2

境川：ツグミ(水浴び)・カワウ・コチドリ

下飯田遊水地：カイツブリ 2・カワラヒワ・コガモ ♪・ホオジロ♂・♀(水浴び)・ツバメ  
カルガモ 2・オナガ 25

### 昆虫

下飯田遊水地：モンキチョウ♂♀・モンシロチョウ

### 天王森のいりどり

